

第3期松田町子ども・子育て支援事業計画  
パブリックコメントの意見の概要と町の考え方について

1 実施概要

(1)実施期間

令和7年1月14日(火)～2月13日(木)

(2)配架場所

町公式サイト、子育て健康課(役場庁舎2階)、生涯学習センター、寄出張所、  
各地域集会施設、健康福祉センター

(3)意見書の提出方法

直接提出、郵送、ファックスまたは電子メール

2 パブリックコメントの結果

(1)意見数(意見提出者)

10件(4人)

(2)意見の内容

意見区分 意見の考慮の結果(件数)

A 意見を反映したもの(5件)

B 参考意見として承ったもの(4件)

C その他(質問など)(1件)

3 パブリックコメントの意見と考え方について

意見区分 A:意見を反映したもの B:参考意見として承ったもの C:その他(質問など)

No	意見・要望	該当ページ	意見区分	備考
1	専門的な用語について、「用語解説集」として別にまとめてもよいと思う。(コーホート変化率法、年齢別労働力、特殊出生率、ヤングケアラー、う歯等)	5・9・11・39・50等	A	巻末の資料編に用語解説を掲載しました。
2	【取り組み】について、「妊娠期」「子育て期(0歳～●歳)」「子育て期(●歳～△歳)」などで分類すると対象事業について、こどもの該当時期が明確な表現になると思う。	48～	B	ご意見ありがとうございました。
3	【取り組み】表の「担当課」は社会福祉協議会も含まれているため、「所管」や「窓口」などの表現でもよいと思う。また、事業名の並び順も担当課ごとにまとめることについても検討してほしい。	48～	A	「担当課」の表記を「所管」に改めました。

4	「乳幼児健康診査の実施」の「内容」中(10～11 か児)を(10～11 か月児)へ修正。	49	A	該当箇所の表記を改めました。
5	【取り組み】表の「国、県及び農業団体、商工団体等関係団体との連携」と「国、県及び関連団体等との連携」、「男女共同参画の意識づくり」と「男女共同参画教育の推進」など近似している事業についてはまとめてよいと思う。	64	B	ご意見ありがとうございました。
6	第2期事業計画の目標や指標に対して、結果の取りまとめや評価は行うのか。		C	令和7年に実施予定です。
7	<p>第4章 施策の展開について、それぞれの項目に現状と課題、それらに対する取り組み方針などがリード文として記載され、その後に各取り組みが列挙されているが、課題等とその課題等に対する取り組みの整合性が欠けているのではないかとと思われる項目がいくつかある。</p> <p>例えば、P55(5)について、出会いの場を提供する取り組みを推進しますとあるのに対し、取り組みの内容としては、新婚生活に対する費用の助成だけであったり、P56(1)こどもの権利の保障についても、学校現場だけでなく、幅広い方々に対して周知啓発活動等を行う必要がある内容ではないかと思う。</p> <p>計画全体を見ても、方針等は非常に頷ける内容を記述いただいているため、分析いただいた松田町が抱える課題解決に向け尽力いただき、ここで生まれ育ってよかった、この町で子育てがしたいと感じてもらえるまちづくりをよろしく願います。</p> <p>物価高騰などの影響により、子育て世帯の方々にのしかかる負担は益々厳しい状況となることが予見されますが、出産を希望する人が安心して生み育てられる環境整備をよろしく願います。</p>	55、56	B	ご意見ありがとうございました。
8	ヤングケアラーの認知度が低いため、ヤングケアラーについての注釈があるとわかりやすい。	39～42	A	巻末の資料編にヤングケアラーの説明を掲載しました。

9	<p>ラ・メゾンカラフル町屋について、記述内容が古いので次のような文章はどうか。(表の子育て世帯等を対象とした地域優良賃貸住宅のところ) “定住促進・子育て支援をコンセプトに、子育て世帯・新婚世帯が対象の住宅として、平成 31 年 3 月から入居が開始された「ラ・メゾンカラフル町屋」は、子育て支援センターの正面に位置し、住宅内にコミュニティスペースがあるなど、安心・安全にファミリー世帯が暮らしやすい住宅となっています。”</p>	63	A	<p>該当箇所の表記を改めました。</p>
10	<p>基本理念(いのち“育み”未来へ“ツナグ”進化“つづける”故郷)について、こどもたちにとってもすべての町民にとってもそんな故郷であってほしいと共感し、願うばかりです。 ひとり親家庭割合の増加、子育てと仕事の両立の悩み、経済的問題等々、子育てに困難を抱える世帯が顕在化してきている状況で、「子ども家庭センター」の設置は子育て世帯には心強いものとなることと思います。 たくさんの取り組みの計画がある中でマンパワーの充実も必須であるだろうと感じました。これらの取り組みを受ける方はもちろん、提供する方も重圧や負担が最小限で笑顔でツナガリ、進化していくことを願っています。</p>		B	<p>ご意見ありがとうございました。</p>